

題名 循環型社会と3R（スリーアール）

1．学習のねらい

地球に住む私たちは、大昔から自然の恵みを受けて生活してきました。くらしの中で何気なく捨てたゴミの一つ一つが、地球の環境にいろいろ影響を与えています。

- (1) ゴミを減らすこと、リサイクルすることに、どういう意味があるのか考えます。
- (2) 循環型社会について、また、それを実現するためのキーワードである3R（スリーアール）について学びます。

2．実施について

- (1) 実施時期：1年を通して可能
- (2) 実施場所：普通教室
- (2) 指導時数：1時間
- (4) 指導対象：中学年以上

3．準備するもの

- ・ワークシート

4．学習の進め方

- (1) このプログラムを学習する前に、まずワークシートを配付し、3Rの取組の現状について家庭でチェックしてくるよう指示しておきます。
- (2) 日常生活におけるゴミの処理や資源の消費の現状を考えながら「3R」や「循環型社会」の意味について、ワークシートを参考に学習します。

○3R（スリーアール）とは、Reduce（リデュース）：ゴミを減らそう。

Reuse（リユース）：繰り返し使おう。

Recycle（リサイクル）：つくり変えて利用しよう。

それぞれの頭文字3つをとってスリーアールといいます。

「循環型社会」とは、ゴミを減らして資源やものを大切に使う社会のことです。

そして、3Rとは「循環型社会」を作っていくためのキーワードです。

私たちは、これまでたくさん資源を使ってものを作り、使い、捨てながら、便利で快適な生活を送ってきました。でも、資源には限りがあります。このままの調子で使っていけば、やがて無くなってしまいます。

また、私たちは、**1日1人1.1kgものゴミを出している**といわれており、ゴミを埋め立て処分する場所も不足しています。

このままだと、地球には資源もなくなってゴミでいっぱいになってしまいますが、そうならないよう、みんなで3Rを実行して循環型社会を作っていく必要があります。

循環型社会を作るためには、原則として、リデュース リユース リサイクルの順に取り組むのが効果的です。

ただし、環境に与える影響や費用のことも考えて、最適な方法を選ばなければならないこともあります。

- (3) 学習したことに一定期間取り組んだあと、改めてワークシートのチェックリストで振り

返り、自己評価します。

5. 実施上の工夫・留意点

- (1) 循環型社会とか3Rという言葉は難しい印象を受けますが、ここでは資源やものを大切に扱うこと、言い換えれば「もったいない」という意識をもつようになればよいでしょう。
- (2) 環境保全活動の取組でノーベル平和賞を受賞したケニアのワンガリ・マータイさんは、来日した際、3R運動を簡潔に表現する「もったいない」という日本語に出会い、この言葉に深く共鳴しました。これをきっかけに「もったいない」を世界共通語にしたいという願いから、「もったいない運動」としての取組が世界各地で行われています。学習内容にぜひ盛り込みたいものです。

「もったいない」に該当することは、「ゴミを分別する」「不要な照明をこまめに消す」など、どれも取り組みやすいことばかりで、「もうやっているよ」という子どもも多いと思われる。

しかし、そんなことの積み重ねが地球環境を救い、子や孫が安心して暮らせる地域環境を残すことにつながるのです。

6. 参考資料

(1) 文献

- 『もったいない』プラネット・リンク編(2005年)株式会社マガジンハウス
- 『私の、もったいない』マガジンハウス編(2006年)株式会社マガジンハウス
- 『循環型社会白書』環境省編・ぎょうせい

(2) ホームページ

・3R関係

- 『経済産業省』 <http://www.meti.go.jp/policy/recycle/>
- 『環境省』 <http://www.env.go.jp/>
- 『クリーン・ジャパン・センター』 <http://www.cjc.or.jp/>

- ・『3R学習支援ホームページ』 <http://www.cjc.or.jp/support/>

[リサイクル(3R)の現状(統計・データ)]

[環境リサイクル情報センター(3R関連資料閲覧サービス)]

・リサイクル関係

- 『PETボトルリサイクル推進協議会』 <http://www.petbottle-rec.gr.jp/top.html>
- 『環境学習支援サイト(プラスチックリサイクル)』 <http://www.pwmi.or.jp/ch/>
- 『日本容器包装リサイクル協会』 <http://www.jcpra.or.jp/>



【ワークシート】 あなたは3 Rの^{たつじん}達人？

3 R(スリーアール)を考えた生活をしているかチェックしてみましょう。

<お家の人といっしょに生活をふりかえりチェックしてみましょう>
なまえ _____

- Q 1 住んでいる市町村の分別のルールにもとづき、ゴミを出していますか？
しない ときどき いつも
- Q 2 買い物には「マイバック」を持っていき、レジぶくろをことわっていますか？
しない ときどき いつも
- Q 3 せんざいやシャンプーなどの「つめかえ用せい品」を使っていますか？
使わない たまに できるだけ
- Q 4 使い終わったよう器は、軽く水あらいしてから、分別してすてていますか？
しない ときどき いつも
- Q 5 ペットボトルは、キャップやシールをとって、分別してすてていますか？
しない ときどき いつも
- Q 6 包そう紙やチラシのうらを（メモにするなど）さい利用していますか？
しない ときどき している
- Q 7 家電せい品がこわれたら、買いかえる前にしゅう理に出すことを考えますか？
しない ときどき いつも
- Q 8 買った食品を食べきれずに賞味期げんがすぎて、すててしまうことはありますか？
よくある ときどき ない
- Q 9 レストランなどで、注文しすぎて食べ残してしまうことはありますか？
よくある たまに ない
- Q 10 古紙使用のトイレットペーパーなど、さい生品を選んでいますか？
しない たまに いつも

はん定

1点 2点 3点で点数を合計しよう。

合計が25点以上...あなたは「3 R」の達人

15点以上...よくがんばっているね

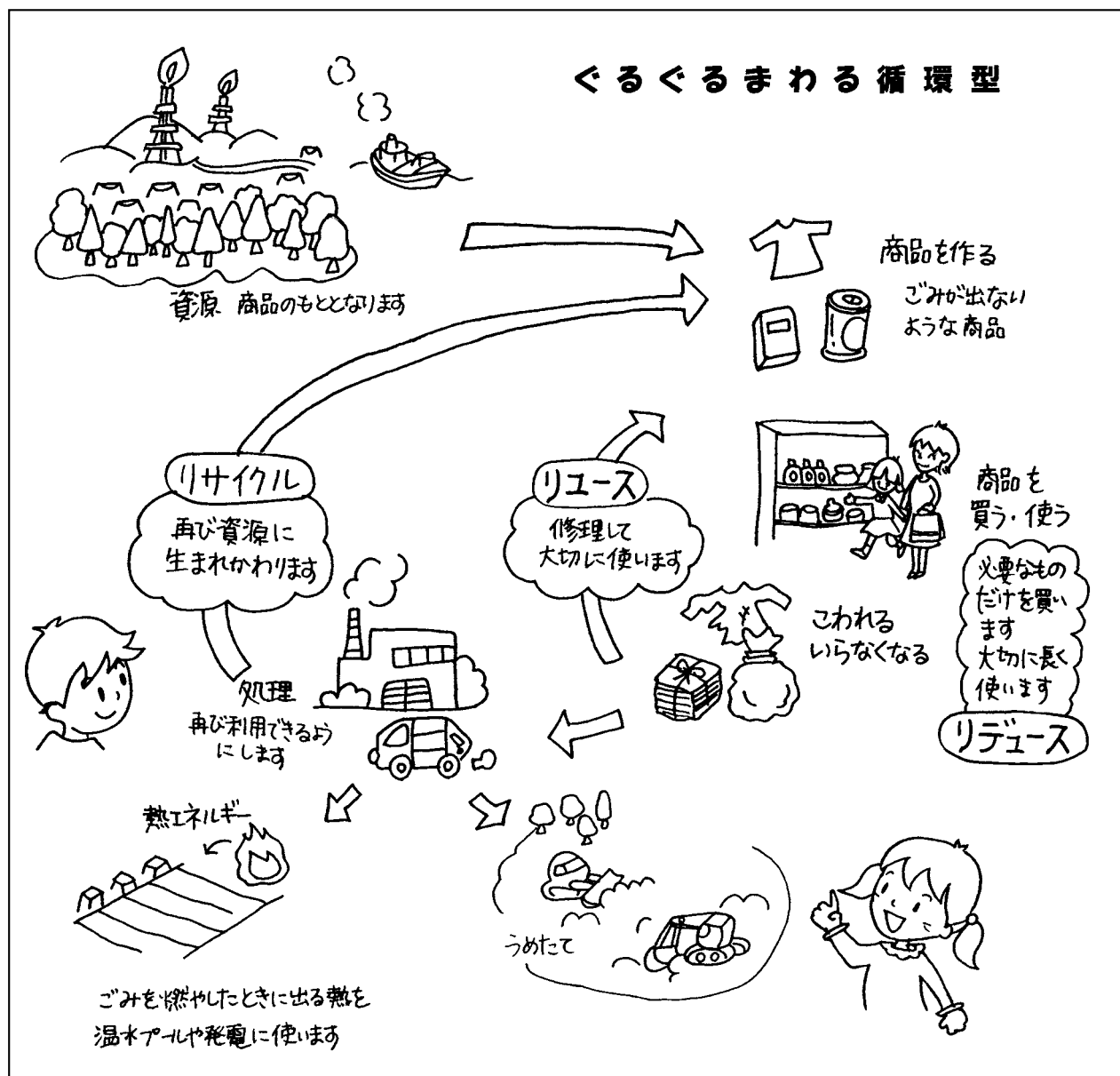
10点以上...もう少しがんばって

それ未満...3 Rをいちからがんばろう

点 数 合 計
点

チェックの結果の感想を書いてみよう。3 Rの学習前と学習後をくらべてみよう。

【ワークシート】 これからの「循環型社会」でのものの流れ



衣食住
地域社会

Reduce (リデュース)

ゴミの量をへらすためには「リサイクル」するより先に、そもそもゴミを出さないようにすることが大切です。できるだけゴミは作らない。ムダなものは買わない、もらわないようにしましょう。

Reuse (リユース)

古くなったものをゴミとしてすぐにするのではなく、洗ったり直したりして、くり返し大切に使いましょう。

Recycle (リサイクル)

使い終わったものをゴミとしてする時は、大切なしげんとして活かせるよう、ルールにしたがって分別し、リサイクルルートに乗せましょう。また、リサイクルによって作られたせい品をこう入することも大切です。